



# 都立南大沢学園通信

～情熱・誠実・実践～

東京都立南大沢学園  
校長 井上 美保  
令和7年1月8日発行  
1月号

## 2025年・・・成長の年に

校長 井上 美保

2025年の幕開けです。

皆さんはどのようなお正月を過ごしたのでしょうか。

今年は、巳（へび）年ですね。十二支の中でもへびは、怖いとか不気味だとか、あまり良いイメージがない一方で、金運や商売繁盛など、古くから縁起の良い生き物として語り継がれてきました。

巳年は、へびが脱皮するように「新しい自分に生まれ変わる」「幸せな未来をつかむ」年だと言われています。三年生は、卒業まであと三か月、「幸せな未来をつかむ」ため自分の描いてきた夢に向かってラストスパート！ さあ、頑張っていきましょう。

さて、12月のことですが、八王子市では「若者の意見を施策に反映させる」取組みを行っていて、本校が八王子市にあることから、代表生徒たちが「八王子市のまちづくり」に関するインタビューを受けました。生徒たちの意見の一部には、『野球やバスケットボールができる公園を増やし、競技人口が増えることで、それぞれの競技がもっと盛んになったら嬉しい』『昔ながらの駄菓子屋を作ると、地域の子どもと住民のコミュニケーションが増えて良いのではないか』など、自分自身の身近なことから、八王子市に望むことまで、普段感じている思いを伝えることができました。

さらに、先方の話では、生徒の意見の中には「働く」ことを意識した言葉や表現が多かったと聞いています。公の場で、自分の意見を自分の言葉で伝えられることは、これから仕事をしていく上でも大切なことです。

今日から、学校生活が始まりました。2月には技能競技会もありますね。日頃の学習の積み上げが成果となって花開くよう、まとめの三か月。より一層の努力を積み重ねていきましょう。

## 学び続けることは自分を磨く

主幹教諭 小嶋 利信

新しい年を迎えました。本年もよろしくお願いいたします。

生徒の皆さん、新たな気持ちで、前進して行きましょう。

昨年末に学園祭が開催され、1,000名を超える来場者がありました。ありがとうございました。

学園祭では、2・3年生はコース、1年生は兄弟学級での活動を通じて「おもてなし」について学びました。教科の作品展示では、生徒の個性があふれる作品でいっぱいでした。このことは、日々、4S・南大沢スタンダードを意識し、コツコツと学び続けた成果だと思えます。学園祭を通じて学んだ経験を今後の生活に活かして欲しいと思えます。

これからの期間は、1年間のまとめの期間となります。3年生は、在籍した3年間のまとめとして、2月に行われる技能競技会で学習の成果を発表してください。2年生は、南大沢学園の新たなリーダーとなる期間です。技能競技会やコースで3年生の雄姿を見て、「リーダーとは何か」を学んでください。1年生は、4月に後輩ができます。後輩は先輩を見て真似ることで学校生活のルールなどを学びます。良い模範となれるよう、もう一度、4S・南大沢スタンダードを意識して、基礎基本が身に付いているか確認し、1年間のまとめをしてください。

どんなことでも、主体的にどのようにすれば良いかを考え、基礎基本（4S・南大沢スタンダード等）を意識して、実践することが大切です。自分磨きに繋がります。新たなステージに向けて、学び続けましょう。

**4S・南大沢スタンダードをベースに！**

**学び続けることで自分を磨こう！**